

暮らし・福祉・平和のまちに。 憲法を守り、生かします



佐藤みつる

さとう 充

日本共産党

小平市議会議員(3期12年)

プロフィール

- 秋田県大仙市出身、63歳。
- 1970年高校卒、国際電気株式会社(現在の日立国際電気)に入社し10年間勤務、日本民主青年同盟、日本共産党の専従者として活動。
- 2003年より市議会議員に(3期12年)。
現在、総務委員、まちづくり検討特別委員長、党市議団幹事長。小平市監査委員など歴任。
- 趣味/絵画、スポーツ鑑賞、音楽、民謡。
- 家族/妻・息子、小川町2丁目在住。

3期12年「市民の暮らし第二」を貫き活動してきました。
いま、安倍政権の消費税増税、社会保障の切下げ、アベノミクスで貧困が広がり、くらしも平和も危ない…。黙っているわけにはまいりません。
私は、小平市長と力を合わせ、憲法を生かし、市民のくらし・平和を守る防波堤となる市政をさらに発展させます。日本を「戦争する国」にさせないために、全力を尽くす決意です。
どうぞよろしくお願ひします。

佐藤みつるさんに期待します



私とは同い年で地方出身という共通項があり、何かと相談に乗ってもらっています。

佐藤さんの一貫した暮らし・平和への取り組みから、私も多くのことを学びました。唯一の被爆国の政治家としてのメッセージには迫力があります。
小平市長 小林 正則

実現へ全力を尽くします

日本共産党

佐藤みつるのお約束

暮らし

- 家庭ごみ回収の無料を守ります。
- ブラック企業・ブラックバイトの根絶。
- 公契約条例、住宅リフォーム助成制度の実現。
- 原発ゼロへ。太陽光発電などへの助成拡充。

子育て・教育

- 認可保育園を増やし待機児ゼロへ。
- 小・中学生の医療費ゼロ、所得制限を無くします。
- 30人数学級をめざします。

医療・介護

- 国民健康保険税の引下げをめざします。
- 高齢者の医療費の負担軽減を。
- 介護保険料・利用料の軽減、特養老人ホームの増設。

平和

- 憲法9条を守り、集団的自衛権行使・「戦争する国づくり」を許しません。
- 市の非核平和事業を充実させます。

まちづくり産業

- 小平駅北口地区の再開発、道づくりは住民の知恵と合意で。歩道・生活道路の整備、安全な街づくり。
- コミュニティバス・タクシーの拡充。
- 地産地消を増やし、農業・商店街の振興を。TPP反対。緑・自然を守ります。



この子たちを戦場には送るまい!

- 安倍政権(自民・公明)の暮らし・社会保障の破壊、原発再稼働、戦争する国づくりにストップを!
- 政党助成金制度の廃止を!

憲法違反で政党墮落の温床、年間320億円もの税金ムダ遣い。日本共産党はいっさい受け取りません。

「なぜなんだ」の疑問が…

今では有名になった「あきたこまち」の産地、秋田の貧しい農家に生まれ育ちました。将来を夢見る少年の心に、まず突き刺さったのは、“コメを作るな”という減反のニュース。両親や裕福ではない近所の農民たちの苦悩の相談会が、毎日のように続きました。私には「なぜ減反なんだ」という疑問が残りました。



労働者・農民魂は絶対に捨てない (小平地区労大会で)

さらに、ベトナム戦争のニュース。強大国アメリカの新鋭機が、小国ベトナムの農家を焼き払っていく。

逃げ惑う農民や母子の映像を見たときは、ショックでした。なぜなんだ?…

黙ってはいられない

1970年、羽村の国際電気 (現在、日立国際電気) に入社。入った寮は、ボロアパート6畳と4畳半に4人。「話が違う」とみんなの怒りが段々と溜まっていきました。

200人ほどの新人研修が終わり、いよいよ配属が決まる時、「半分の人は関連会社に出向してもらおう」とのこと。騒然となりました。私はその対象外でしたが、「黙ってはいられない」と何人かと一緒に労働組合に駆け込み、ピラをつくり配布。大闘争になりました。

信頼できる! 共産党に入党

撤回は出来なかったものの、会社は「必ず返す」と約束しました。その後まもなく、工場では、猛暑の中で長時間残業が続き、塩をなめ、ニンニクをかじりながらの人も。人手不足? おかしい! 長時間労働反対の闘いも続きました。

いつも一緒に頑張ったのが共産党の人たち。半端ではない! 私は迷わず入党したのです。18歳の時でした。

米軍基地・ベトナム戦争

工場と寮のすぐ近くに横田基地がありました。ベトナム戦争が激しくなるにつれ、夜明けごろからゴーッ・キーンとジェット機のエンジンテストで目が覚めます。

広大な基地と金アミを隔て密集した住宅地は天地の差です。近くの小さな公園で、米軍の子が日本の子どもたちと泥んこ遊び。その屈託のない笑顔が印象的でした。この子も兵隊になって戦争に行くのだろうか?…矛盾を感じました。

だから、がんばる!

労働者や農民たちの苦しみ、米軍基地、戦争…小さいところからの疑問が、一つにつながって解けはじめました。「アメリカ言いなり・大企業中心」の政治を変えること。私は仕事と活動にまい進しました。

困った人は放っておけない。貧困を無くしたい、戦争しない日本を守り抜きたい—そのために今、一生懸命です。

貧困も戦争もない社会をつくりたい 佐藤みつるの原点

この4年間 みなさんと力を合わせ がんばって実現させました

一端のご紹介です

日本共産党

小平市議会議員

佐藤みつる

本当によかった!

認可保育園12園の建設

粘り強くやりました。なにせ、小平市は30年間も認可の保育園を造ってこなかったのです。議会では「子どもは減る、認可外で十分:」というような議論ばかり。

その中で共産党市議団だけが「待機児解消には、しっかりと基準の認可園を増やすことこそ必要」と主張。議会でも当初は孤立感がありましたが、市民の声・運動が後押ししてくれました。何度も取り上げる中、市は認可園を造ることに。

この3年間に12園増えました。2015年度は、さらに2園新設の見込みです。待機児が無くなるまで、がんばります。



市民検診、さらに充実

市民の健康増進に力を入れようと市民と運動。

大腸がん検診に続き、骨粗しょう症、20歳からの成人歯科の無料検診が加わりました。医療関係者や市民の強い要望と、繰り返し返

し議会での質問・市への要請が実現し、拡充しました。さらに、前立腺がん検診 (PSA 検査) も加わる見込みです。

市民の願い・請願を国会に届けました (2014年10月国会で)



市民の願い・請願を国会に届けました (2014年10月国会で)

全学級にクーラー

夏の猛暑続きで、子どもたちの健康も心配。「23区はクーラーが付いているのに多摩にないのはおかしい」と保護者たちが共産党と一緒に東京都に要請。補助を増やさせることになりました。

子どもたちの安全。学園東小校門のポストコーンし、小・中学校の全学級にクーラーが付きました。



走れ、広がれ!!

コミュニティタクシー

市民の交通の便と高齢者の「出かけ」、元気なまちづくりをと、コミュニティバスを走らせる運動が続きました。

にじバスに併せ、コミュニティタクシー (ぶるべー号) が大沼地域に始まり、小川・栄町、東南地域まで広がりました。

今度は「たかの台地域へ」と運動が続いています。